

広報たかのす

過ぎゆく
秋に

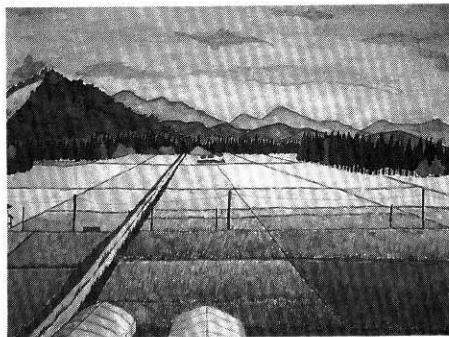
冬じたく



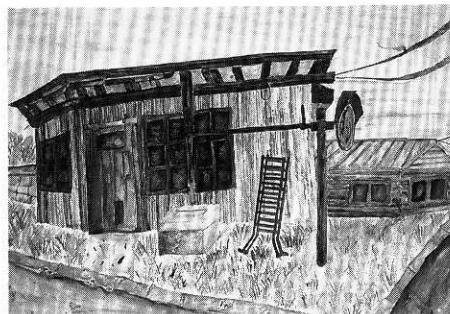
94 12/1

町民 モヤブリー

(15)



島内 麻衣子さん (南中・2年)



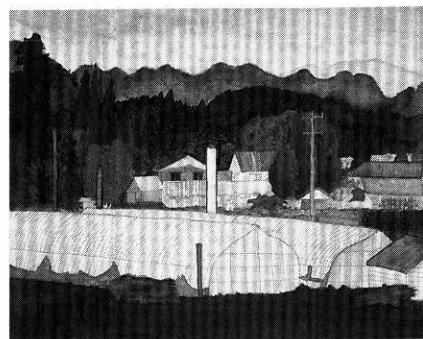
成田 裕一郎君 (鷹中・1年)

作品展より（優秀作品）

鷹巣町文化祭・第31回小・中学校の部



細田 樹君 (鷹中・3年)



佐藤 美輝子さん (南中・2年)

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	金	土	
年越し		官庁仕事納め				クリスマス		冬至		天皇誕生日					年賀郵便特別扱始							障害者の日	針供養						歳末たすけあい運動 (→31日)
																												12月	

△12月▽

12/1号目次

- 町民ギャラリー（文化祭、小・中学校の部作品展優秀作品） 2
- 町内3小学校で創立120周年記念式典行われる 4
- 特集 障害児福祉「地域における子どもの療育を考える」 6
- 健康まつりと講演会のお知らせ 8
- 岩本俊雄氏に勲七等瑞宝章
町長日誌 9
- 農業委員会だより「農地転用には許可が必要」 10
- まちの話題 11
- 健康広場 12
- 暮らしの情報 15
- 公民館まつりのお知らせ 18

〔表紙のことば〕



暦はもう12月、年末を迎え何かと慌ただしくなる季節です。長期予報によると、今年の冬は比較的暖冬とか…。でも、雪国にとっては厳しい冬、とりわけ雪に備えて“冬じたく”は必要です。日曜日になると休日を利用して庭木の冬囲いをする姿があちこちで見られました。

人口と世帯数 10月31日現在 住民基本台帳による

総人口 23,294人(13人増)
男 11,212人(6人増)
女 12,082人(7人増)
出生 10人 転入 38人
死亡 16人 転出 19人
世帯数 7,406世帯(2世帯減)

カルチャー&スポーツ



ファルコン

12・4(日) 映写会「ヒーローインタビュー、平成狸合戦ぽんぽこ他3本立」

入場料／前売一般・高校1,000円、幼・小・中800円
上映時間①10:00～②11:55～③13:50～④17:30～

12・5(月) 民謡・秋田おばこ物語「貞子」公演
入場料／S席(指定) 5,000円、A席(自由) 4,000円
①13:30～②18:30～

12・10(土) 三国・武石ピアノ教室発表会 13:30～16:00
入場／無料

12・18(日) ヤマハクリスマスおたのしみ会 13:30～16:30
入場／無料

12・23(金) 鷹巣混声合唱団第18回クリスマスコンサート
入場料／一般500円(全席自由) 14:30～16:30
※詳しいことは、ファルコン(62-3311)まで

中央公民館

12・4(日) 公民館まつり

12・4(日)～8(木) 正午まで、生涯学習展

スポーツ

12・1(木)～2(金) 町民バレーボール大会

12・3(土)～5(月) 県北高校新人バスケットボール大会

■キヤスト
佐藤 貞子・浅利香津代(秋田市出身)
小山内洋声・浜田光夫
作・今野 勉
演出・鈴木完一郎



民謡・秋田おばこ物語
さだこ
子

■ 鷹巣(ファルコン) 12月5日(月)

入場料：指定席5,000円 自由席4,000円 昼の部 13:30～
プレイガイド 鷹巣風土館・日活書店 夜の部 18:30～

祝
創立120周年

百二十年の栄えある伝統を受け継ぎ、新たな飛躍を誓う。

わが国の学校教育は、明治五年に学制が発布されて以来、今日まで世界に誇る進展を遂げてまいりましたが、町内の綾子、南、鷹巣の三小学校は、それぞれ明治七年に創立し、今年で百二十周年を迎えました。各小学校では、これまでの貴い歴史と伝統を誇りに、これを契機として今後の更なる前進をめざして、記念式典や記念事業が行われましたので、百二十年の歩みとともに紹介します。

町内で開校が最も早い綾子小

明治七年七月、町内で最も早く開校した綾子小学校（出川長五郎校長、児童二百七十四人）では、十月三十日学習発表会と同日開催で創立百二十周年記念式典が行われ、来賓や児童・父兄など約五百人が出席して、地域と共に歩んできた歴史の節目を祝い、新たな飛躍を誓いました。

式典後の祝賀会では、同校太鼓クラブの綾子太鼓、上町児童有志による奴（やつこ）踊りが披露されました。

【記念事業】

記念誌「百二十年のあゆみ」と記念文集の発刊・ビデオプロジェクターとカメラ一式。ステージ用引き幕



120年の歴史が収められた記念誌は貴重な資料



記念事業で備えられたビデオプロジェクターとカメラ



綾子小学校の歩み

明治七年七月三十日 宝勝寺内に仮設で綾子学校を開校（児童十六人、同十年女子五人入学）

明治十四年十月 岩谷分校開校（同十五年大畑分校、同二十四年糠沢分校開校）

昭和十年十一月 秩父宮殿下本校御成

昭和二十二年四月 新学制施行により、綾子小学校と改称

昭和三十一年九月 町村合併により鷹巣町立綾子小学校と改称

昭和三十九年四月 本校、糠沢分校統合

昭和四十一年五月 鉄筋校舎新築落成

昭和五十四年四月 岩谷分校廃校本校に統合

○全国美術展「学校地区賞、奨励賞」等受賞のほか各分野で受賞多数
○卒業生七千八百九十二人を輩出

文教の地で伝統を築く南小

南小学校（成田金也校長、児童四十七人）の創立百二十周年記念式典は、十月二日来賓、児童、父兄など約四百人が出席して行われ、これまで築いた歴史と伝統を深く心に刻み、新たな飛躍へ第一歩を踏みだしました。



△父母が共同製作した陶板画「希望」



同校の現在地は、かつて郡立農林学校（現在の鷹巣農林高校）があつたところで、農林業の多くの先駆者を輩出しています。式典後は、児童と父母が共同製作した陶板画の除幕式や祝賀会が行われました。

【記念事業】

・陶板画「希望」の製作・記念誌「百二十年の歩み」・ステージ用引き幕

北秋の中心校として発展鷹巣小

常に北秋の中心校として発展してきた歴史に誇りを持ちながら、自覚と決心を新たに、二十一世紀に向けた飛躍を行なうなど約八百人余りが出席して行なわれ、

誓い合いました。

同校は、大規模校であるとともに、特殊学級設置の草分けでもあり、ことば、きこえの教室などは各方面から高い評価を得ています。

【記念事業】

・ミニュメント飛翔の塔の製作・記念誌「あしあと」の発刊ほか

南小学校の歩み	
明治七年八月一日	竜泉寺を校舎に
七日市学校を開校	（児童四十三人）
明治十一年七月	小森、脇神二校合併、小猿部小学校と改称（後に七日市尋常小学校、小猿部簡易小学校）
大正二年九月	七日市字中岱（現在地の隣地）に校舎移転
昭和四十四年四月	七日市小学校坊山小学校合併、町立南小学校となる（翌四十五年四月、中央小学校の一部、葛黒小学校の一部が南小学区へ編入）
昭和四十七年七月	新校舎落成
昭和六十年四月	「六十、六十一年度心身障害児理解推進校」として文部省指定、県教委の委嘱を受ける
平成元年八月	全日本学童野球全県大会優勝、全国大会出場
○卒業生三千八百四十七人を輩出	



鷹巣小学校の歩み	
明治七年八月二日	淨運寺に鷹巣学校を開校（児童六十一人）
明治十年十月	仲町に校舎新築移転
明治二十年四月	新町に校舎を新築移転
明治三十四年九月	寺東に校舎を新築移転し、落成式と開校式を行う
明治四十四年四月	鉢巻山学校林に落葉樹一万本植樹、同年五月県知事より出席優良の優勝旗授与
昭和二十二年四月	新学制施行、鷹巣小学校と改称
昭和三十八年八月	横町に校舎移転
昭和四十六年四月	ことばの教室開設
昭和五十八年八月	現在地に校舎落成
○全国教育美術展学校賞受賞、全県小中学校相撲大会全県優勝など多数	
○卒業生一万二千三百四十二人を輩出	

特集

Part 1

◇障害児福祉◇ 地域における子どもの 療育を考える



「すべての子どもが地域の中で 健やかに育つように…」

—— もろびこども園開園記念・地域療育を考える集いから ——

○福祉の立場からー斎藤彦志
役場福祉保健課福祉係長
「行政は親の意向をくみながら共同で運営にあたらなければならぬ。また、親の会のつながりもさらに必要。福祉事務所、各町村の担当課、保

関係機関の連携の強化を
通園事業について

〈パネルディスカッション〉

「地域における

将来的には専門
の医療機関を

○保健の立場からー福田美保
子役場福祉保健課保健婦
「乳幼児健診を強化し、その質的向上、スタッフの育成を図るとともに、早期発見から療育指導までのネットワークが必要。また、将来的には県

このほど、「もろびこども園」では開園一周年を記念して、関係者など約六十名が参加し「地域療育を考える集い」を広域交流センターで開催いたしました。

今号では「地域療育を考える集い」で行われたパネルディスカッション、岩川徹町長の講話の内容をとおして、地域における子どもの療育指導の在り方について考えてみましょう。

「すべての子どもが地域の中で健やかに育つ」——、それは地域の中で暮らす私たちみんなの願いです。子どもは生まれてから大人になるまでの間、いろいろなことをのりこえて成長していきますが、ハンディキャップをもつた子どもたちのために町では心身障害児通園施設「もろびこども園」を設置、子ども一人ひとりの発達に合わせた療育指導を行っています。

次号では、もろびこども園の概要や実際に行われている療育指導についてご紹介します。

もろびこども園でボランティアをしてみませんか

鷹巣町もろびこども園では、発達に遅れやつまずきのみられる幼児のための保育のお手伝いをしてくれるボランティアを募っています。

入門講座として、下記の日程でボランティア講座を開催しますので、どうぞご参加ください。

●にちじとないよう

1回目12月7日(水) 12:30~14:00 [ボランティアについての講義]

2回目 14日(水) ✕ [実際に子どもたちと]

ふれあいます(実技)]

3回目23日(金)~25日(日)のいずれか (時間は午前)

[クリスマスパーティーで交流]



●かいじょう

もろびこども園（中央公民館分館）

※お申し込みは、社会福祉協議会事務局（☎63-2109）まで

北地区にも専門の医療機関を設置し、専門職のスタッフを増やすことが望ましい」

る。今後は保健婦とのつながりもさらに求めていきたい」

保育園・こども園に相談を

ネットワーク・システムづくりの必要性

○保育の立場からー平川キヌ
北秋田福祉事務所保育指導員

「子ども同士のつながりや成長のためにも保育園に通うことは大事であり、担任の先生だけでなく園全体で対応するよう心がけたい。また、保護者も保育園・もろびこども園の先生方に何でも相談してほしい」

○療育現場の立場からー伊藤清貴 もろびこども園指導員
「子どもたちの成長に伴った療育を行うためのネットワーク・システムづくりは必要であり、ネットワークづくりにはシス

テムが地域で有機的に結びつかなければならない。また、現在の施設も環境のいいものにしていきたい」

余裕ができる希望の光が見えてきた

△講話

「通園事業 この一年を振り返って」

子どもたちが地域の中で育つていくように、今後ももろびこども園と行政の連携を深めていきたい」

○保護者の立場からー伊藤鉄美 もろびこども園保護者会長

「もろびこども園が開園して一年経ったが、子どもたちに成長がみられ親にも余裕ができ希望の光が見えてきた。子どもたちはもろびこども園に通園するの楽しみにしてい

厚生省）の事業なので許可がおりなければ設置できなかっため、県の関係機関とも協力を図りながら町の福祉保健課の職員たちが一生懸命頑張り開園することができた。

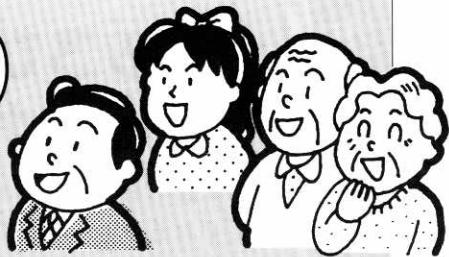
現在、日本の社会において子どもを育てる環境が変わりつつある。子育ては個人でするという考え方から、社会のシステムの中で育てるという考え方へ移行しつつある。少子化現象もやはり社会全体の責任であり、「子どもは社会資本」という考え方をすれば、当然行政は子どもを育てやすい環境の整備に力を入れるべきである。



○講師ー岩川徹鷹巣町長

「もろびこども園を開園したのは、平成四年にワーキンググループに入っていた方たちから“もろび親の会”的活動について聞き、その場で心身障害児の通園施設をつくろうと約束したことがきっかけになっている。通園事業は国（

健康まつり・高齢者健康のつどい&介護フェスティバル



12月20日(火) 9:00~16:00 たかのす風土館(ファルコン)

町では、これまで町老人クラブ連合会との共催で高齢者健康の集いを開催してまいりましたが、「自分の健康は自分で守る」健康意識の高揚と、介護機器の活用で「楽でよりよい介護」の支援をPRするなどの目的で、健康まつりと介護フェスティバルを合同開催することになりました。

高齢者をはじめ、町民の皆さまのご参加をお待ちしております。

健康まつり

●健康相談

●食生活の改善と献立の展示

●健康展(「骨粗しょう病予防で骨折とねたきりを防ぐ」①パネル展示②ビデオ上映)

●生命の貯蓄体操の実演

高齢者健康のつどい

●講演会

●ホームヘルパー活動の紹介

●看護ステーションの活動紹介

介護フェスティバル

●老人・障害者にやさしい住宅パネル展示

●手すり・スロープ等のモデル展示

●福祉機器展示と講習会

●福祉機器に関する制度の紹介と相談

●介護用品の展示

△詳しいことについては、役場福祉保健課(☎六二一一一)までお問い合わせください。



かけ地近接危険住宅移転事業のご案内

この制度は

がけ地の崩壊などにより、

住民生命に危険を及ぼすおそれのある区域に建つていい

る危険住宅を安全な場所に

移転を促進するため、町が

要する経費と新たに建設す

る住宅(購入も含みます)

に要する経費に対して補助

金を交付する制度です。

六九万円。

▼建物助成費=危険住宅に代わる住宅の建設(購入も含みます)のため、金融機

関から融資を受けた場合、借り入れ金の利子相当額(利

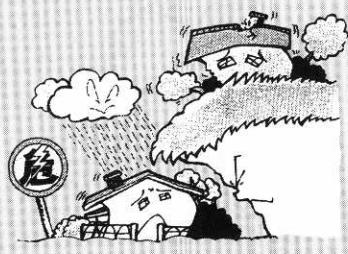
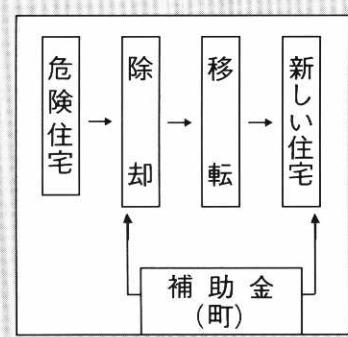
率は八・五%を限度としま

す)

※平成六年度は一戸あたり補助限度額三七一万円。ただし、土地の取得を要しない場合の補助限度額三〇三万円。

▼詳しくは、役場建設課住宅公園係☎62-1111へお問い合わせください。

がけ地の崩壊等の危険があり、秋田県条例で建築を制限している区域内にある住宅です。



町長日誌

11/1~15

2日（水）蟹沢大橋（仮称）工事合同安全祈願祭に出席。

3日（木）第11回鷹巣町産業祭開会式に出席、また第26回鷹巣町文化祭の芸術文化奨励賞授与式、花だんコンクール、ひまわりコンクール表彰式に出席、各入賞者に賞状と記念品を贈り栄誉を讃えた。

3日（木）鷹巣球場改修工事を記念して小中学生を対象とした福本豊氏（元阪急ブレーブス）による野球教室を開催、合わせて町の野球ファンの皆様に『私のプロ野球人生』と題した講演をいただいた。

3日（木）文化祭行事『野口達二氏文化講演会』に出席。

6日（日）平安建都千二百年を祝う『京都まつり』に秋田県を代表して綴子太鼓（上町自治会員40名）とともにパレードに参加、都大路に雷鳴をとどろかせた。

7日（月）経済審議会『少子・高齢社会委員会』に出席。

8日（火）第2回鷹巣町老人福祉大会に出席、約450名の老人クラブ会員が出席するなか、「自分たちの老後生活の安心を自分たちでつくる気持ちで頑張ってほしい」と激励あいさつ。

8日（火）来町中の佐々木知事に対し、工業団地の造成、太鼓の館整備、雇用促進住宅の建設実現について要望書を提出、知事は「雇用促進住宅は鷹巣町を一本に絞って実現するよう頑張りたい」と確約。また、工業団地、太鼓の館整備についても積極的な支援を約束してくださった。

10日（木）鷹巣町身体障害者協会の会員交流会に出席。

10日（木）もろびこども園開園記念「地域療育を考える集い」に出席、『通園事業、この一年を振り返って』と題し講話をした。

12日（土）JA鷹巣町新穀感謝祭並びにJAまつりに出席。

12日（土）空港ターミナルビルについての懇談会に出席。



岩本氏は「常に担当区域は自分の財産だと思い道路維持に携わった」と話すよう、三十数年間の長きにわたって一貫して地道な業務に励まれたこれまでのご功績が認められたものです。

受章の喜びを岩本氏は「自分の仕事を自分なりに取り組んでやってきただけで、今回の受章は身に余る光栄、大変恐縮しております」と語っていました。

岩本氏は、昭和三十年十月県北秋田木事務所に勤務して以来、道路維持を担当し、道路整備員として当時県道だった国道一〇五号線森吉町、鷹巣町境界地点から鷹巣橋間や同じく一〇五号線比内、小森間などの破損個所の補修等にあたってきました。

叙勲の

岩本俊雄氏が晴れの受章

おめでとうございます

政府は文化の日の十一月三日、平成六年度秋の生存者叙勲を発表しましたが、町からは元県主任技師の岩本俊雄氏（六十三歳・岩脇）が地方自治功労者として勲七等瑞宝章の栄誉に輝きました。岩本

氏のご功績を讃えご紹介します。

歳末たすけあい運動

12月1日
～12月31日

『地域でさえあう
あったかいお正月』

●歳末たすけあい募金にご協力をお願いします。



農業委員会だより

農地を守り
有効利用
するために

「なくそう！農地の無断転用」

農地等の転用には許可が必要です

農業や農村が厳しい環境にある中で、担い手不足などの理由による不作付農地や耕作放棄地といった、いわゆる遊休農地が増加する傾向にあるとともに、農地の無断転用があとをたたない状況にあります。

農地は、食糧の安定供給のための生産基盤であるばかりではなく、かけがえのない自然環境を守ることからも重要な役割を果たしています。

こうしたことから、地域の実情に合わせた計画的な利活用とともに、将来の農業経営者が農地を有効に利用できるように維持・管理していくため、許可制がとられています。

農地転用とは……

① 農地等を住宅敷地、工場敷地、道路、山林などの農地以外の用途に転用することです。

また、一時的に資材置き場などにする場合も、一時転用として許可が必要になります。

② その土地が農地であるかどうかは、現況によって判断されます。地目が農地であれば、たとえ遊休地であっても、農地と見なされます。また、地目が農地でなくても耕作されていれば、農地として見なされ、転用するためには許可が必要となります。

③ 水田、畑、樹園地等の農地のほか、採草放牧地を売買して転用する場合にも、許可が必要です。

農地転用は、2種類

① 農地の所有者が自らその農地を転用する場合。
(農地法第4条)

② 農地の所有者、耕作者から農地を買い受け、または借り受け転用する場合。
(農地法第5条) …以上2種類があります。

農地等の転用手手続き

① 事前相談を

農地を転用する場合は、法律による制限があり、知事や農林水産大臣の許可が必要です。許可申請をする前に農業委員会に相談して、指導・助言を受けますと円滑な手続きができます。

③ 申請に必要な書類(申請書+添付書類)



- ① 転用する土地の登記簿謄本
- ② 地番を表示する図面
- ③ 付近の位置図
- ④ 土地に建設しようとする建物または施設の面積等
- ⑤ 土地改良区の意見書
- ⑥ 法人の場合は、定款、法人登記簿、謄本等
- ⑦ その他、住民票、印鑑証明書等

② 申請する人

申 農地を転用する人（転用後も所有）
●転用目的で農地等を取得する人、
請 または転用事業者
●転用者に農地等を売買、または貸
者 与する人（地主）

4条 農
地
法
5条 両
者

④ 転用手手続きの流れ

◎転用面積が2ha以下の場合には、農業委員会を経由して県知事に申請書を提出します。



詳しくは、農業委員会まで
お問い合わせください
(☎ 621-1111)



「京都まつり」に綴子大太鼓が出演 —秋田の観光をアピール—

先月六日、京都市で開催された「京都まつり」の都大路パレードに本県から綴子上町の大太鼓が出演し、広く秋田県の観光をアピールして大好評でした。

この「京都まつり」は平安建都千二百年を祝うもので、パレードには全国からねぶた（青森）、阿波踊り（徳島）など郷土芸能の団体約九十団体、一万三千人が参加。当日は雨模様の天気でしたが、岩川徹町長をはじめ京都秋田県人会の応援でパレードを盛り上げるとともに、華やかで勇壮な奴踊りや雷鳴がとどろくような大太鼓の音は、沿道を埋めた約三十三万人の見物客の視線をくぎづけにし、大喝采を浴びました。

カラーテレビ電話で対面しながら在宅の体の不自由な高齢者に健康相談や介護支援ができる「遠隔健康相談システム」の実験が現在当町で行われています。この相談システムは、郵政省が「高齢化社会における情報通信の在り方に関する調査研究会」の提言に基づき医療機関を中心に全国十九カ所で実施しているものです。自治体としては唯一の実験地となる当町では在宅の高齢者のいる一世帯と役場福祉保健課にそれぞれ一台ずつ設置されており、実験期間は一ヶ月間となっていますが相手の表情が確認できることから、介護者の不安や悩みを解消する手助けになるものと期待されています。



役場に報告に訪れたチームの代表者三名は「予想以上に良い成績を収め、他のチームとも交流できて嬉しかったです」と喜びを語っていました。

このほど福岡県北九州市で開かれた第七回全国スポーツ・レクリエーション祭の男女混合綱引き大会に県代表として出場した「エアポートたかのすチーム」（能登谷隆二監督）が、全国から五十チームが参加した中、四位に入賞、あわせてふれあい賞も受賞し、大健闘の成果を收めました。

このふれあい賞は、出場チームのうち五チームに贈られましたが、同チームのメンバーや応援団が大太鼓のハンテンを着て“大太鼓の里”をPRしたことによるものです。

福祉テレビ電話当町が全国の自治体初 —郵政省のモデル事業—

男女混合綱引き大会全国四位に入賞 —エアポートたかのすチーム—

このほど福岡県北九州市で開かれた第七回全国

保健婦からのメッセージ

12月1日は「世界エイズデー」

「エイズに取り組もう！家族みんなで」

「エイズは予防できる病気です」

健康広場

福祉保健課からのお知らせ



エイズは一九八一年にアメリカで初めて症例が報告されました。一九九四年六月現在、世界に百万人近く患者がいることが報告され深刻な問題となっています。こうした中でWHO（世界保健機関）は、一九八八年に世界的レベルでのエイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別偏見の解消を図ることを目的として、十二月一日を「世界エイズデー」と定めエイズに関する啓発活動などの実施を呼びかけています。

これらの状況を踏まえ、鷹巣町においても駅前や生協前にて鷹巣保健所主催による街頭キャンペーンが実施されます。

「わが国の最近のHIV感染の特徴」

- ①日本人感染者が増加傾向
- ②感染者の潜在化が懸念される
- ③異性間性行為によるものが主たる感染経路
- ④特に女性については二十代の若い世代に感染が集中している
- ⑤感染が全国的に拡がっている

エイズは誰にでも感染する可能性がありますが、恐れることはありません。エイズの感染の仕方、予防法はすでにわかっています。

「正しい知識を身につけること・予防を心がけて行動すること」

これによってエイズは防ぐことができます。ですから、エイズに感染するかどうかはあなたの行動しだいと言つても過言ではないでしょう。

※わが国のエイズ患者数八百十人・HIV感染者三千百二十一人（平成六年八月末日現在）エイズリポート十一号より

福祉メモ

⑯

ワーキンググループについて

各グループの具体的な取り組みについて紹介しております。

〔第二グループ〕

このグループは、「福祉行政サービス」はどうあれば良いかを考え提言するグループです。提言だけではなく自分たちでできることとして次のような活動をしています。

- (1)現行の福祉制度などを自ら学習し、四人ずつの小グループに分かれ輪番で毎月一日号の「広報たかのす」に「福祉モデル」として記事を書いており、今回で十六回目になります。
- これまで掲載してきたテーマは、(1)ホームヘルパー
- 福祉弁当
- 老人訪問看護ステーション
- 福祉用語
- 老人クラブと友愛ボランティア
- ワーキンググループの全体の紹介
- 各ワーキンググループの紹介です。

(2)「たかのすまち福祉ガイドブック」を作り、町内各世帯に配布しました（平成六年一月一日発行）

老人、身体障害者、母子、父子家庭、知的障害の方などへの福祉サービスについて各項目ごとに費用や手続きの方法、問い合わせ先などを明記しているので便利でよく利用されています。どうぞもう一度ご覧ください。

(3)今後の活動計画として

①先進地の福祉行政の視察や、資料による研修を参考にする。

②「老人世帯の雪下ろし」について考える。

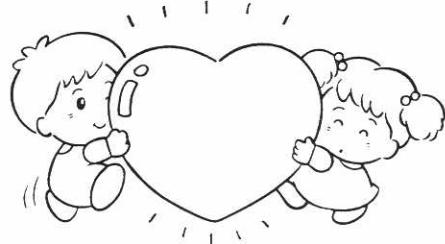
③広報掲載は今後も続けていきます。

—鷹巣町福祉のまちづくり

ワーキンググループ（福祉行政サービス）

平成7年度 保育園・町立幼稚園 入園希望者募集

申込受付期間は12月1日～12月22日まで



【保育園】

■募集人員 ※（ ）内は三歳未満児

- 鷹巣保育園 九十人（三十六人） ○南鷹巣保育園 百二十人（四十人） ○七日市保育園 六十人（十二人） ○綴子保育園 六十人（十二人） ○中央保育園 九十人（三十人） ○東保育園 六十人（十一人） ○竜森保育園 三十人（三歳児以上に限ります）

■申込先

福祉保健課福祉係または各保育園

※申請書はどちらにもありますので、必要な書類を添えて提出してください。

■入園通知

一月下旬に面接を行い、二月下旬までに入園決定を保護者に通知します。

■お問い合わせ先

福祉保健課福祉係 (☎六二一一一一 内線一三六・一三七)

【町立幼稚園】

■募集人員

- 北幼稚園・西幼稚園ともに四十人（平成二年四月一日から平成三年四月一日生まれのお子さん）

■募集地域

- 北幼稚園・西幼稚園ともに四十人（平成二年四月一日から平成三年四月一日生まれのお子さん）

■申込先

各幼稚園（入園願書は教育委員会及び各幼稚園にあります）

■入園通知

二月下旬までに入園決定を保護者に通知します。

■お問い合わせ先

教育委員会学校教育課 (☎六二一一一一 内線四二三)、北幼稚園 (☎六三一〇八七八)、西幼稚園 (☎六二一二六二三)

旭町
いしい とおるちゃん
新舟見町
なかじま まさるちゃん

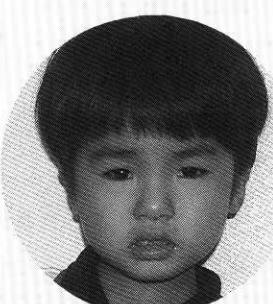
新舟見町
さわた みさきちゃん
あけぼの町
はらだ みちほちゃん



～11月2日に行われた3歳児健診で虫歯のなかったお子さんをご紹介します～



新舟見町
なかじま まさるちゃん



あけぼの町
はらだ みちほちゃん



新舟見町
さわた みさきちゃん
あけぼの町
はらだ みちほちゃん

12月の健康ごよみ

■ 5日（月）・19日（月）

○母子健康手帳交付と第1回妊婦教室

場所－中央公民館保健相談室

受付時間－午後1時～1時10分

（妊婦教室終了は3時）

持参－印鑑

■ 7日（水）・20日（水）

○健康相談と健康教育

場所－中央公民館保健相談室

時間－午前10時～12時／午後1時～3時

内容－「お酒と肝臓」

健康相談、血圧測定、慢性病予防教室

（ビデオによる健康教育）

■ 13日（火）

○1歳6ヶ月児健康診査

対象－平成5年4月～5月生まれのお子さん

場所－中央公民館ホール

受付時間－午後1時～1時15分

持参－母子健康手帳、問診票、バスタオル

○フッ素イオン導入

対象－3歳児以上

場所－中央公民館保健相談室

時間－午後1時30分～3時

持参－母子健康手帳・タオル

■ 19日（月）

○第3回妊婦教室

場所－中央公民館保健相談室

時間－午前10時～11時30分

内容－赤ちゃんの扱い方と衣類について／育

児の要点について／その他

〔予防接種のお知らせ〕

■ 14日（水）・15日（木）

○はしか予防接種

対象－12月14日現在で生後12カ月～36カ月の

お子さん（希望者は72カ月まで）

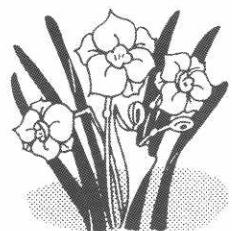
接種日程－（14日）北秋中央病院・藤原医院

津谷内科

（15日）奈良医院・としま医院

持参－母子健康手帳

健康広場



スイセン

献血にご協力お願いします

十一月の献血車巡回日程

■ 12月6日（火）

○午前十時～午後二時 鷹巣農林高校

○午後二時十五分～午後四時 吉野子どもの村
■ 12月7日（水）
○午前九時三十分～十二時 鷹巣高校

生き生き健康教室を開催

■ 第一回・12月16日（金）

▽ 時間 午後1時～午後2時30分

▽ 場所 中央公民館

▽ 内容 「わかりやすいコレステロールの話」

たむら内科クリニック院長 田村 豊一
※どなたでも参加できますのでお気軽にいでください。

夜間当番医(夜間)日程表

(午後6時30分～9時)

12月	曜日	医療機関名	電話番号
1	木	としま 医院	62-1267
2	金	戸嶋産婦人科医院	62-1123
3	土	近藤 医院	62-1155
4	日	北秋中央病院	62-1455
5	月	鷹巣病院	62-1210
6	火	奈良 医院	62-1146
7	水	佐藤外科消化器医院	62-1420
8	木	津谷内科	62-2261
9	金	遠藤クリニック	63-0515
10	土	藤原 医院	62-2882
11	日	佐々木産婦人科病院	63-0105
12	月	盛岡外科医院	62-1101
13	火	戸嶋産婦人科医院	62-1123
14	水	としま 医院	62-1267
15	木	近藤 医院	62-1155

○応急の診療を要する患者。
○往診はしておりません。
○仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

※年齢・病気の病状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。

暮らしの情報



INFORMATION

行政相談 今月は12日

行政についての不満や要望
がありましたら、どんな些細
なことでも遠慮なく申し出て
ください。

▽時間 午前十時～午後三時

▽場所 中央公民館三階和室

▽行政相談委員 近藤栄一

(☎六二一一二二一〇)

※相談は無料で、秘密は固く
守られます。

自衛隊生徒募集

防衛庁では、主として来春
卒業予定の中学生を対象に自
衛隊生徒を募集しております。
▽応募資格
平成七年四月一日現在十五歳
以上十七歳未満の男子中卒者
(見込みを含む)

▽受付期間

平成七年一月四日（水）まで	▽第一次試験日
平成七年一月六日（木）	▽第一次試験合格者には、平
成七年一月十六日（月）に本 人あてに通知します。	人あてに通知します。
▽身分	特別職国家公務員
▽初任給	十四万九千七百円
▽詳しいお問い合わせは役場 住民生活課住民係（内線一二 三〇一二五）または自衛隊大 館出張所（☎一八六一四二 一三九八）へ。	▽詳しいお問い合わせは役場 住民生活課住民係（内線一二 三〇一二五）または自衛隊大 館出張所（☎一八六一四二 一三九八）へ。

危険物取扱者試験 が実施されます

詳しいことは受験案内をご
覧ください。

▽試験区分

①甲種・乙種第一類～第六類
・丙種（一般・高校生）②乙
種第四類・丙種（高校生）

▽願書受付期限

十二月七日（水）まで

▽試験日時
①平成七年一月十二日（木）
午前十時から ②平成七年
一月二十八日（土）午後二時
から

▽試験会場

ハローワーク求人情報

【男子】

職種	年齢	基本給（万円）	資格免許	業務内容	就業場所
ガソリンスタンド業務	18歳～28歳	13.3～17.68	普通免許	石油製品の販売 日用品等の販売	鷹巣町
パチンコ店接客サービス	20歳～50歳	16～18.5	不問	パチンコ店	鷹巣町
タクシードライバー	25歳以上	19.5～23	大型、普通2種普通免許でも可	一般乗用旅客 自動車運送業	合川町
運転手	20歳～45歳	16.5～19	大型免許 普通免許	生コンクリート 製造販売	鷹巣町
機械による鉄の切断	18歳～55歳	13～20.5	普通免許	非鉄金属、金属材料の販売及び加工業	鷹巣町
建築板金工及び見習工	18歳～55歳	20～26.5	不問	各種屋根工事、鋼板加工、ステンレス溶接	鷹巣町
業務全般	20歳～30歳	18.6	普通免許	アパレル商品 仕上げ輸送業	鷹巣町
電機工事士	18歳～40歳	16.2	不問	電気工事業 (内線)	鷹巣町
一般業務	20歳～60歳	15～16.5	不問	珪藻土製粉業 加工	鷹巣町
販売員	19歳～45歳	15～16	普通免許	燃料小売業	鷹巣町

職種	年齢	基本給（万円）	資格免許	業務内容	就業場所
歯科受付及び助手	18歳～30歳	11.5～15	不問	歯科医療業	鷹巣町
一般事務	20歳～30歳	11～13	普通免許	建築資材販売業	鷹巣町
事務員	20歳～40歳	11～13	普通免許	婦人スカートパンツ製造業	鷹巣町
看護婦及び准看護	18歳～40歳	12.5～25	正・准看護婦	一般診療所(内科・皮膚科)	鷹巣町
縫製工	20歳～55歳	11～15	不問	婦人服製造業	鷹巣町
販売員	18歳～40歳	13～18	普通免許	百貨店	鷹巣町
販売員	20歳～35歳	12～13.5	不問	靴販売業	鷹巣町
ミシンオペレーター	18歳～55歳	10.35～11.5	不問	各種官公庁作業服、制服、子供服製造業	森吉町
雑役	20歳～55歳	10.5～12	不問	製材業	鷹巣町
販売員(パート)	18歳～30歳	時給580～600	普通免許	コンビニエンスストア	鷹巣町

問い合わせは

ハローワークたかのす
(大館公共職業安定所鷹巣出張所)

【女子】

TEL 0186-62-1240



済法科大学・横手工業高校
②) 大館工業高校・能代工業
高校・男鹿工業高校・秋田工業高校・由利工業高校・西目高校・大曲工業高校
※受験案内の請求・お問い合わせは、(財)消防試験研究センター秋田県支部(秋田市中通四一三一二十三秋田県消防会館内・☎〇一八八一三六一五六七三)へ。

秋田県心身障害者総合福祉展が開催されます

この福祉展は、障害者が自ら製作した各種の作品を展示し障害者に対する正しい認識を深めるとともに、障害者の社会活動への積極的な参加と自立意識を高めることを目的に開催されるものです。

▽テーマ
「自立の道に自信と誇りを」

▽開催期間
十二月九日(金)～十二月十一日(日)

▽開催時間
午前九時～午後四時三十分

▽会場
秋田県社会福祉会館二階展示

ホーク(秋田市旭北栄町一)
秋田県社会福祉会館二階展示

五)

※お問い合わせは、社会福祉協会(☎〇一八八一六四一二七八〇)へ。

「NHK海外たすけあい」にご協力を

海外の恵まれない人々に援助の手を差しのべる「NHK海外たすけあい」(主催)日本赤十字社、日本放送協会、NHK厚生文化事業団)が、今年も十二月一日から二十五日までの間実施されることになりました。

今年で十二回目となるこのキャンペーンでは募金目標額を十億円とし、主に自然災害や戦争、紛争等の犠牲者に対する国際救援事業及び発展途上国を対象とした開発協力事業の充実・発展に役立てるこ

とにしています。

みなさんの温かいご協力を

お待ちしております。

〔義援金の受付窓口〕

郵便局、秋田銀行、北都銀行農協、漁協、NHK秋田放送局、日本赤十字社秋田県支部秋田赤十字病院、秋田県赤十字血液センター

シルバー人材センターは高年齢者が「自主・自立・共働・共助」をモットーに地域に役立つ仕事をするこ

シルバー人材センター設立をめざして(2)

シルバー人材センターは高年齢者が「自主・自立・共働・共助」をモットーに地域に役立つ仕事をするこ

とで社会と自身に活力を生み出そうとする組織です。

会員の共助により自主的に運営されますが、高齢化社会を支える公益性から法律により国・県・市町村の補助があります。



会員の共助により自主的に運営されますが、高齢化社会を支える公益性から法律により国・県・市町村の補助があります。

【運営のしくみ】

○会員
おおむね六十歳以上で働く意欲のある健康な人なら

く意欲のある健康な人なら会員になることができます。

○入会の手続き
セントラルに入会申込書を提出し、自分の技能や希望する仕事を登録します。

○仕事
センターでは家庭、事業所、官公庁から有償で仕事を引き受け、会員の希望、能力に応じて紹介します。

また、技能講習も行います。

会員が働いた仕事をの種類

シルバー人材センターは高年齢者が「自主・自立・共働・共助」をモットーに地域に役立つ仕事をするこ

とで社会と自身に活力を生み出そうとする組織です。

会員の共助により自主的に運営されますが、高齢化社会を支える公益性から法律により国・県・市町村の補助があります。

慶弔だより

11月1日～15日・敬称略



誕生おめでとう
ございます

柳谷 杏子(藤江美子)長女 宮前町
中嶋 南(浩文)長女 川口
関 啓介(仁史)二男 宮前町
藤島 俊(千代子)長男 大堤
小笠原大将(孝京)長男 花園町
畠山 珠理(順龍)二女 綾子大畑
加賀谷千秋(竹敏)長女 伊勢町



二人の前途を
祝福いたします

佐藤 勝久 宮前町
成田 里美 大町
山内 武文 糸田 沢
龜山 紗子 田 沢
宇佐美 信寿 脇 神市
武藤 昌子 秋田 市
橋本 司 あけぼの町
五代儀 瞳 美 住吉町
成田 彦智 伊勢町
小山 朗子 大曲 市
佐藤 一男 四渡 株
畠山 加代子 藤

おくやみ申し上げます

長谷川ヨシエ(62) 太田
古家 繁雄(66) 昭和
村田 金藏(72) 内幸町
山形マツエ(87) 松葉町
小坂 勇(61) 摩当
畠山 ミヨ(74) 新舟見町
三澤 喜市(83) 田中
明石多一郎(77) 与助岱
小塙 貞夫(72) 舟場
小笠原キサ(95) 綾子大畑



香典返し

このほど次の方々から、香典返しとして町社会福祉協議会へ寄付金をいただきました。

▽住吉町 II 藤島清さんから亡

母キクさんの香典返し

▽藤株 II 佐々木優美さんから亡妻セツ子さんの香典返し

▽掛泥 II 三浦秀満さんから亡父定雄さんの香典返し

▽東横町 II 成田史苗さんから亡父俊彦さんの香典返し

▽舟見町 II 村田稔さんから亡父金藏さんの香典返し

▽新舟見町 II 畠山誠一さんから亡母ミヨさんの香典返し

▽高村岱 II 堀部英樹さんから亡父喜江藏さんの香典返し

▽新舟見町 II 畠山誠一さんから亡母ミヨさんの香典返し

町立図書館からのお知らせ

<12月の図書館> ○は休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

(休館日について)

●23日 天皇誕生日

●28日～1月4日 年末年始

<おはなしててこい>

とき 12月17日(土)
ばしょ ファルコン会議室
じかん 2:00～3:00
ないよう にんぎょうげき
えほんのよみきかせ
かみしばい
てあそびうた ほか



※対象は幼児と小学校低学年です。

～鷹巣町立図書館 ☎62-3311～

第12回 鷹巣町 公民館まつりと生涯学習交流会

12/4(日) 9:00~17:00

(昨年の公民館まつりから)

生涯学習時代といわれる中で、生きがいを求め、
郷土を愛する心を育みながら、お互いに実践活動の
発表と情報交換を行い楽しく交流してみませんか。
もう一人の自分が見つかるのでは…………。

どなたでも
お気軽にご参加ください！

- 日 時／12月4日（日）9:00~17:00
■会 場／鷹巣町中央公民館
■主 催／鷹巣町生涯学習推進本部、鷹巣町教育委員会、鷹巣町中央公民館、各地区公民館
■参加対象／講座受講者をはじめ、どなたでもお気軽にご参加ください。
■テー マ 「地域づくりと生涯学習」
■内 容
・パネルディスカッション
《ものづくり 夢づくり みんなの力で》
・提言者▷大川正行（鷹巣町森林組合）▷岩本幸悦（JA鷹巣町）▷三沢星子（農業）▷藤本英夫（藤本産業）・司会者▷金澤松男（生涯学習奨励員）
・記念講演
演題／『空港整備と地域活性化』
講師／秋田県土木部大館能代空港建設局
　　局長 花田 宦氏（脇神出身）
・わたしの生涯学習
発表／高橋行文（たのしい英会話講座受講生）
　　畠山絹子（歌謡友の会受講生）
展示／デッサン・陶芸・写真・野草に親しむ講座等
◇交流会
手づくり屋台、バンド演奏、舞踊など
◇参加費等（希望者は、申込書で申込のうえ、当日受付へ納付） 昼食／500円交流会／1,000円
■参加申込み
12月2日（金）まで、中央公民館（☎62-1130）
へお申し込み下さい。

